T13 26/11/17

「安全にダウンロードすることはできません」というエラーへの対処方法

ブラウザ（Google Chrome など）で「安全にダウンロードすることはできません」というエラーが表示されてファイルのダウンロードがブロックされる場合、ブラウザのセキュリティ機能（セーフブラウジング）が働いてブロックしている可能性が高いため、以下の手順でダウンロードを許可することができます。

1　ダウンロードできない理由

Google Chrome や Microsoft Edge などの主要なブラウザでは、近年のアップデートによりセキュリティの制限が厳しくなっています。以前は問題なくダウンロードできたファイルであっても、主に以下の理由でブロックされる仕様変更がおこなわれています。

① 暗号化されていない通信（HTTP）からのダウンロード規制:
閲覧しているページが「HTTPS（安全な接続）」であるにもかかわらず、中にあるダウンロードリンクが「HTTP（暗号化されていない古い通信）」だと、ブラウザが自動的に「安全ではない」と判断してブロックします。

② セーフブラウジング機能の強化:
知名度の低い ZIP ファイルや、自動判定でリスクがあるとみなされたファイルに対して、ユーザーを保護するために警告表示やダウンロードの制限がより厳格化されています。

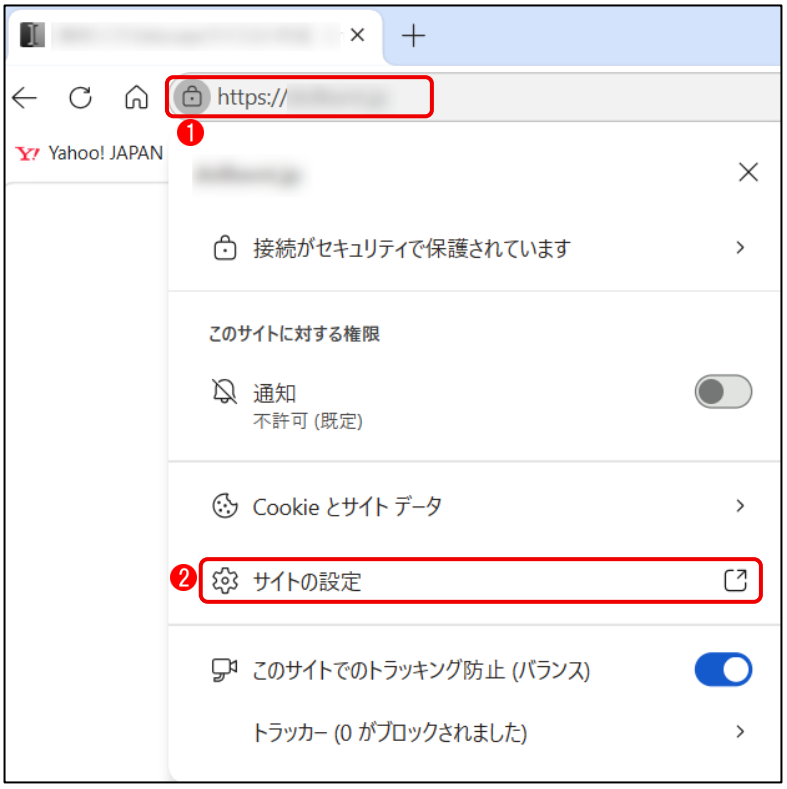
2　制限を回避してダウンロードする方法

この制限を回避してダウンロードする方法もしそのファイルがご自身で管理されているものや、安全性が確実なものである場合は、以下のいずれかの方法でダウンロードを許可することができます。

(1) アドレスバーの権限から「許可」に変更する:最も確実な方法。

① ダウンロード元のウェブページを開いた状態で、以下の操作を行います。画面一番上にあるアドレスバーの左端にある「鍵マーク」❶ や「保護されていません」などのアイコン）をクリックします。

② 「サイトの設定」❷ を開きます。



③　一覧にある「セキュリティで保護されていないコンテンツ」の項目を「ブロック（既定)」から「許可」に変更します。



④　ページを再読み込み（更新）し、再度ダウンロードボタンを押します。
→制限が解除され、エラーが出ずにファイルのダウンロードが始まります。

(2) 別タブで URL を直接読み込む方法

① ダウンロードボタン（またはリンク）❶の上で右クリックし、「リンクのコピー」❷を選択します。



② ブラウザの新しいタブを開き、アドレスバーにコピーしたアドレスを貼り付けて Enter キーを押します。
→別のページを経由せず直接ファイルにアクセスするため、ブロックを回避して保存できます。

3 設定変更後の措置

① セキュリティ設定（「安全でないコンテンツ」の許可など）を一時的に変更して保存された場合、同じサイトを今後利用しないのであれば、念のため設定を元の「ブロック（既定）」に戻しておくとより安全です。

② もし、そのサイトを今後も定期的に利用する予定があり、かつ運営元が信頼できるサイトであれば、設定は「許可」のまま変えずにしておいて問題ありません。
ブラウザの「サイトの設定（このサイトに対する権限）」で行った変更は、今開いているそのサイト（ドメイン）だけに個別に適用されます。そのため、他の一般的な Web サイトを閲覧する際のセキュリティレベルが下がってしまうことはありません。